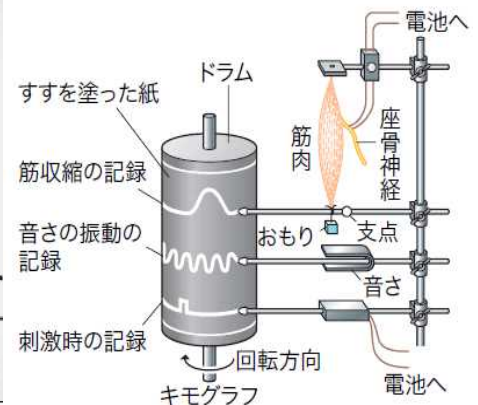
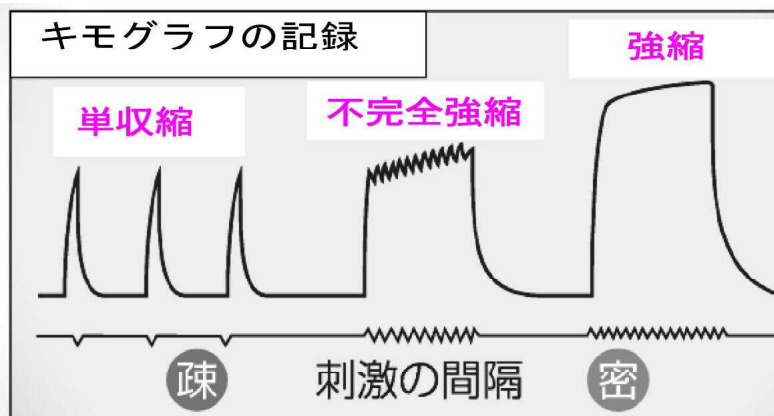


「 / 筋収縮（神経筋標本） No. 40-2（教科書 P187 ～）

筋肉は、伸びた状態（弛緩）から刺激を受けると収縮する。

刺激 1 回で 1 回収縮することを（単収縮）という。刺激が（30）回/秒以上になると収縮が完全につながり（強縮）となる。

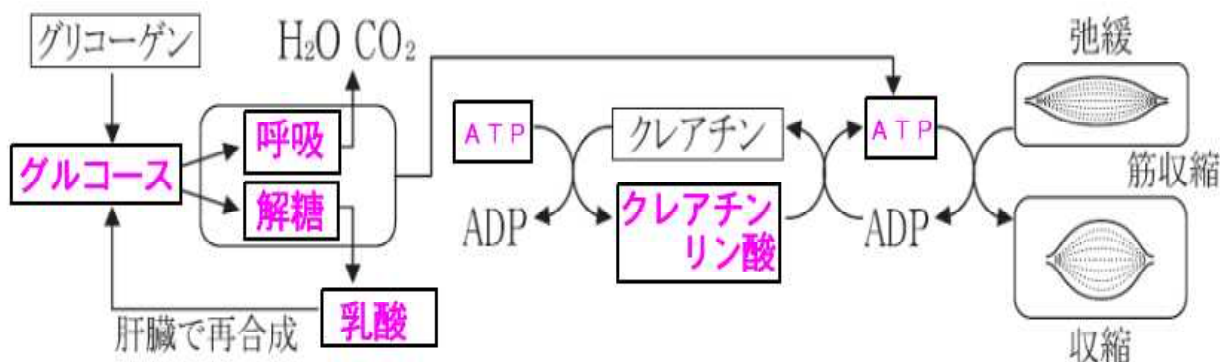


〔筋収縮のエネルギー〕

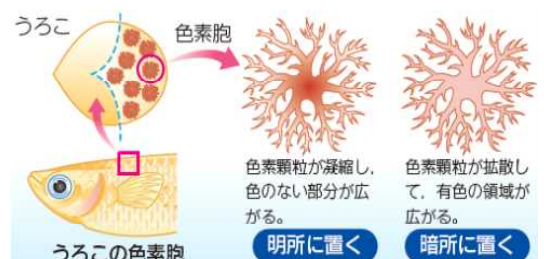
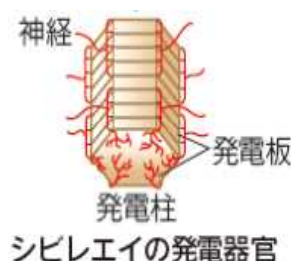
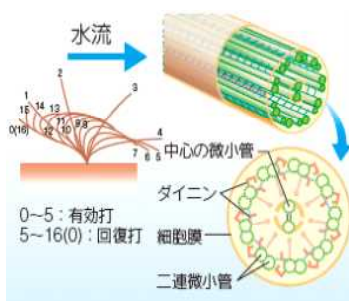
筋収縮のエネルギーは（呼吸）で得られた（ATP）で補給される。

さらに、筋繊維では（クレアチン）が速やかに補給を行う。

長時間収縮が続くと（酸素）が不足し、（解糖）が起きて（乳酸）が蓄積する。これが（疲労）である。



その他の効果器



色素顆粒が 集中 →（明）化  
拡散 →（暗）化

微小管が（ダイニン）で動く